

第一回

新宿アート寄席

立川志の春

平成23年8月27日(土)

新宿・AP西新宿

新宿区西新宿七ー二ー四 新宿喜楓ビル四階
(JR新宿駅西口 徒歩5分・1階が葉のセイジヨのビルです)

十九時〜二十時三十分(開場十八時三十分)

小戸銭：一、五〇〇円(予約：三〇〇円)

全席自由

立川志の春

Shinoharu
Tatekawa

別途打ち上げ会開催

(要予約)

寄席終了後、近くの居酒屋にて
立川志の春さんも交えた
打ち上げ会を開催します。

打ち上げ会
(合費)
二、五〇〇円

昭和51年(1976年)8月14日生まれ、34歳。

小学生時代に父の転勤に伴い渡米。高校卒業後、
アメリカはイェール大学(世界大学ランキング第3位、
クリントン、ブッシュ両大統領らを輩出)に進学。

中国史を学び、ラグビー部に所属。卒業後は、三井物産に入社。

鉄鉱石を扱う部署で順調なサラリーマン生活をしていた

平成13年(2001年)11月、25歳のとき、

偶然立川志の輔の落語を聴き衝撃を受ける。

翌年10月、3年半の勤務に終止符を打ち、周りの反対を押し切って

志の輔門下に入門。8年3カ月の前座修業時代を経て、

今年、平成23年1月に(二目昇進)。

落語界をリードしてきた立川流。昇進規準も厳しいと言われるなかで、

「志の輔落語」の3番弟子としていま注目の落語家である。

志の輔師匠は「冗談抜きて世界で通用する

落語家になつてほしい」とメールを贈っている。

